

# Bulk Forming

(一社) 日本塑性加工学会 鍛造分科会ニュース No. 70 2026年4月

## 最優秀鍛造技術者賞，学会賞の受賞者決定および分科会行事開催報告・予定

### 1. 第22回(2026年度)最優秀鍛造技術者賞の受賞者決定

分科会委員から推薦を受け、分科会運営委員会にて審査の結果、第22回(2026年度)の最優秀鍛造技術者賞を下記の1名の方に授与することを決定しました。贈賞式および受賞者スピーチは分科会総会(2026年5月29日、つくば国際会議場)にて実施予定ですので、皆様、奮ってご参加下さい。

- ・ 上野完治君(日産自動車(株)、ジャトコ(株))：自動車部品の鍛造ネットシェープ技術・センシング技術の開発とその実用化

(所属は業績を挙げた時の所属)

### 2. 2026年度日本塑性加工学会学会賞の受賞者決定

以下の3件について、鍛造分科会から推薦し、授与されました。受賞者の方々、おめでとうございます。学会賞について鍛造分科会では積極的に推薦する方針ですので、推薦されたい方や推薦を希望される方は主査・幹事までご連絡下さい。

(功労賞) 多軸複動油圧サーボプレスの開発と多軸成形技術の普及

森鉄工(株) 森 孝信氏

(新進賞) 冷間鍛造部品の強度予測高度化と形状高精度化に関する研究

日鉄精圧品(株) 新貝康晴氏

(新進賞) 熱間鍛造における工程設計技術の高度化

(株)神戸製鋼所 矢崎健彦氏

### 3. 行事開催報告

各行事の講演プログラムは分科会 HP (<http://www.jstp.or.jp/commit/forging/index.html>) 等にてご確認ください。

#### 3.1 第118回研究集会・研究班集会(2025年10月22,23日、倉敷市)

10月27日および28日に、岡山県倉敷市の倉敷市民会館(写真1)において第118回研究集会・研究班集会を開催しました。27日には研究班集会を実施し、鍛造知能化研究班から4件、鍛造技術温故知新研究班から2件の講演が行われ、38名の方々にご参加いただきました(写真2, 3)。

28日には第118回研究集会を開催し、「鍛造品の高精度・高機能化を支える先端技術」をテーマに、午前中にはJFEスチール(株)、富士ダイス(株)、(株)川上鉄工所よりご講演をいただき、42名の方々にご参加いただきました(写真4)。午後には、JFEスチール(株)および富士ダイス(株)の工場見学を実施し、38名の方にご参加いただきました(写真5, 6)。

最後に、ご講演いただいた講師の皆様ならびに工場見学を受け入れてくださったJFEスチール(株)、富士ダイス(株)に厚く御礼申し上げます。



写真1 倉敷市民会館



写真2 研究班集会（鍛造知能化研究班）



写真3 研究班集会（鍛造技術温故知新研究班）



写真4 研究集会



写真5 工場見学（JFE スチール(株)）



写真6 工場見学（富士ダイス(株)）

（文責：中国四国地区運営委員）

### 3.2 第 363 回塑性加工シンポジウム「大変革を進める自動車産業に対応するプレス・鍛造技術」（2026 年 1 月 20 日，名古屋市）

名古屋工業大学 4 号館ホールにて対面形式で開催された（写真 1）。2035 年に向けたクリーン内燃機関車と EV の販売・生産技術の動向，駆動モータへの塑性加工の適用，自動車産業の激変にともなう部品メーカーの対応について，具体的な開発事例を交えた紹介がなされた。

参加者は 84 名にのぼり，直近 3 年間の平均参加者数（約 40 名）の約 2 倍の結果であった。アンケートによると，参加者の 97%が企業所属であり，その半数が製造・生産技術分野に従事していた。また，実務経験 20 年以上の層が約半数を占め，ベテラン技術者の関心の高さがうかがえた。

講演内容については参加者の80%が「満足（4点以上）」と回答し、「不満（2点以下）」との回答は皆無であった。会場設備についても93%が満足と回答している。総合討論では、参加者と講演者の間で活発な質疑応答が行われた。

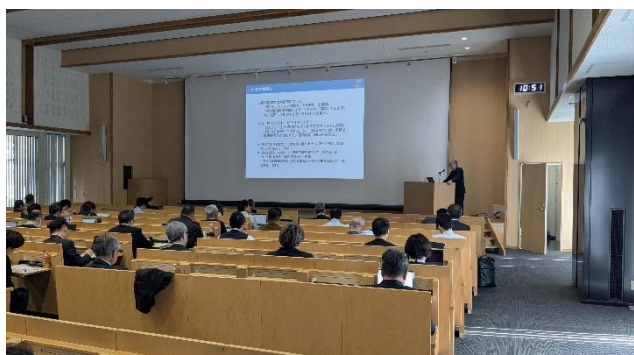


写真7 講演の様子



写真8 総合討論の様子

(文責：金 秀英 (ヤマナカゴキ))

### 3.3 第53回実務講座「難加工品（高強度材・難加工材、難加工形状品）の鍛造技術」（2026年2月4,5日，京都市）

本実務講座は西日本地区運営委員により企画され、2日間で9講演と総合討論、懇親会、工場見学が実施されました。講演会および総合討論は約60名、懇親会は講師の方を含め約50名の方にご参加いただきました。工場見学は定員40名としていましたが、受け入れ先の(株)阪村機械製作所様のご厚意により、参加希望者全員の55名にご参加いただくことができました。

講演会では、自動車用の高強度材のプレス・鍛造に関する取組みから、Ni基合金やTi合金などの難加工材の鍛造に関する取組みや、難加工形状品の各種鍛造に関する取組みについて幅広く、ご講演いただきました。総合討論では、シミュレーション技術や実用化への課題などに関する質疑が活発に行われました。また、昨年が続いて1日目の夜に懇親会を開催し、参加者同士の親睦を深めることができました。工場見学では、(株)阪村機械製作所様に各部品の加工設備と、鍛造機の組み立て工程、サーボフォーamer試作機、搬送用ロボットなどについてご案内いただき、参加者の皆様から数多くのご質問をいただきました。本実務講座は滞りなく進行し、盛況のうちに終わることができました。最後に講師を引き受けて下さった皆様、工場見学先の(株)阪村機械製作所様、また、お力添え・ご協力いただきました関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

(文責：東日本地区運営委員)

## 4. 行事開催予定

現時点での予定ですので、最新情報は分科会 HP (<http://www.jstp.or.jp/commit/forging/index.html>) 等にてご確認ください。

- ・ 2026年5月28,29日 総会・最優秀鍛造技術者賞贈賞式・第119回研究集会・研究班集会（つくば市，東日本地区）
- ・ 2026年10月 第120回研究集会・研究班集会（室蘭市，北日本地区）
- ・ 2027年2月 第54回実務講座（中日本地区）

- ・ 2027年3月 第10回国際精密鍛造セミナー(10th JSTP International Seminar on Precision Forging)  
(京都)

(分科会以外：詳細は各主催のHP等にてご確認ください)

- ・ 2026年6月4,5日 第271回塑性加工技術セミナー「鍛造入門セミナー(演習付き)」(京都市)(実行：鍛造分科会)
- ・ 2026年8月5,6日 第195回塑性加工学講座「鍛造加工の基礎と応用」(名古屋市)(実行：鍛造分科会)
- ・ 2026年9月13~16日 59th ICFG Plenary Meeting(第59回国際冷間鍛造グループ(ICFG)総会)(ドイツ・ダルムシュタット)(詳細：<https://icfg2026.org/>)
- ・ 2026年9月28,29日 第77回塑性加工連合講演会(高松市)(鍛造分科会企画・実行テーマセッション「鍛造加工の高度化・最適化に資する新技術」)
- ・ 2026年10月11~16日 第15回塑性加工国際会議(15th International Conference on the Technology of Plasticity (ICTP))(2026年精密塑性加工国際学術賞贈賞式)(大韓民国・済州島)  
(詳細：<https://ictp2026.com/>)

---

会報「Bulk Forming」バックナンバー：<http://www.jstp.or.jp/commit/forging/bulkforming.html>

お願い：Bulk Forming No.23(1995~96年発行)を探しております。もしお持ちの方がおられましたら、主査・松本(ryo@mat.eng.osaka-u.ac.jp)までご一報ください。

会報「Bulk Forming」への原稿募集

Bulk Forming への寄稿を随時、受け付けておりますので、ご協力、よろしくお願い申し上げます。